

滞納が深刻な事態に

平成18年度決算認定

一般会計 歳入 30億2,476万円・歳出 30億4,430万円

平成19年9月定例会において、平成18年度の決算認定が上程されました。決算審査特別委員会を設置し、5日間にわたり審査を行い、最終日に委員長の審査報告があり、討論の結果、賛成多数で認定しました。

一億円を超えた未収

一般会計

歳入に関しては収入未済総額が一億四十四万六千六百六十二円と一億円を超え、本町の財政上深刻な事態であり収入未済の解消と新規発生の防止が急務である。歳出に関しては不用額が、八千二百八十八万六千八百三十円となっており、財政再建を図るための経費削減、事業見直し等の成果と判断される。

赤字を二千五百万に縮減を評価

十八年度予算編成において、一般会計当初予算で二億五千九十九万円の財源不足額を諸収入に計上しながら、歳出の抑制と歳入の確保により、決算では二千五百九十九万二千円まで縮減できたことは評価できる。

特別会計

特別会計に関しては、国

民健康保険特別会計で、二千八百八十二万六千九十一円と、未済総額が増加傾向にある。他の特別会計は、僅かではあるが、収入未済額が見られ慎重に回収対応をされたい。併せて介護保険料も滞納があるので、徴収に一層の努力をされたい。

指摘事項

一般会計・特別会計の収入未済額は増加傾向にある。一般会計においては、一億円を超え、特別会計でも、二千二百七十万円となり、合わせた未済額は、一億二千三百十六万円と膨らんでいる。返済義務の徹底と意識の高揚をはかり収納率の向上に努められたい。

公共下水道事業特別会計
農業集落排水事業特別会計
一般会計繰入金の減額になるよう加入促進に努めること。

税金等の年度別滞納状況

(単位: 万円)

区分	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
一般会計	9,230	8,979	9,129	9,317	10,044
内、住宅新築資金等貸付金	7,600	7,519	7,467	7,522	7,817
内、災害援護資金貸付金	—	—	239	532	840
国民健康保険特別会計	1,416	1,654	1,813	2,081	2,182